

地上（1957）

メディア 映画
ジャンル ロマン스
製作国 日本
色彩 Color
時間 98分
初公開日 1957/11/22
公開情報 大映

【解説】

島田清次郎の自伝的作品でありベストセラーとなった同名小説のうち「第1部 地に潜むもの」を映画化。新藤兼人の脚本を吉村公三郎が監督した。音楽は伊福部昭。

大河平一郎は金沢中学の五年生。母のお光と置屋の二階で貧しい生活を送っていた。そこへ置屋に売られそうになった冬子が逃げ込んでくるが、平一郎には彼女を助けることができない。針仕事だけでは生計が立てられなくなってきたお光は、置屋の春風楼で下働きをしようとするが、平一郎に止められる。その平一郎は通学途中ですれ違う和歌子に想いを寄せ、友達を通じて手紙を渡すことに成功。和歌子からも恋文をもらう。しかしその恋文を学校で発見され、平一郎は定額に処分を受けてしまう。

【クレジット】

監督 吉村公三郎
製作 永田雅一〔製作〕
企画 川崎治雄
原作 島田清次郎
脚本 新藤兼人
撮影 中川芳久
美術 間野重雄
音楽 伊福部昭
出演 川口浩
野添ひとみ
香川京子
川崎敬三
佐分利信
田中絹代
入江洋佑
安城啓子
月田昌也